



今月の記事

勤続 25 年

「一日我が家」

ユニット便り

リレーエッセイ

今月の愛の園



岩田幼稚園の園児が来園し、入居者一人一人にメッセージ付きの絵画と、運動会への招待状を届けてくれました 9/13

勤続 25 年を振り返って

私が初めて岩田にある旧施設の愛の園へ来させていただいたのは昭和63年4月のことでした。20歳の誕生日を迎えて成人したてのホヤホヤで介護職の経験がない私に、今は亡き濱野園長は「ご家庭でお年寄りと一緒に生活されていらっしゃるのなら大丈夫よ、頑張っ。」と私の背中を押して下さいました。

まだ措置の時代で、寮母さんは自分の母よりも年上の方で人数にして30人弱、2交代制で、毎朝ステーション前で夜勤から日勤に引継ぎが行われていました。何か事があると15分程立ったままの引継ぎになり、時々貧血で倒れる寮母さんもうらっしゃいました。引継ぎの最中、ふらつく体制で報告を聞きながら手のひらを後ろで組んでいると、その頃機能訓練室に現役で勤務されていた近藤修女様から「人の話は手を後ろにして聞きなさんな、前で行儀よく組んで聞きなさい」と大声で注意された事をよく思い出します。それから3か月後、事務所での雑務のお手伝いをするようになり、いつの間にか事務職として医務室と事務室のお仕事をさせていただくようになりました。

数年後、同居していた祖母が措置入所させていただけました。祖母は認知症が進み、骨折後車イス生活でしたが、いつも笑顔を見せてくれ、職員の皆さんが祖母に笑顔の出る介護をして下さっているのだと感謝しながら勤務したことを思い出します。その祖母が95歳で他界した時、私も看護師さんと一緒に処置に入らせていただき、エンゼルケアもさせていただきました。身内として良い経験をさせていただき、祖母も喜んでくれたのではないかなと思います。

25年を振り返るとアツという間違った様な気がしますが、両親や家族や職場の皆さんの支えがあったからこそ無事に勤められたのだと、今回の表彰に際し感謝の気持ちで一杯です。これからも初心を忘れず神愛会の一職員として微力ではありますが努力してまいります。

事務職員

堀 美都子



敬老の日「一日我が家」

9月8日に敬老の日『一日我が家』を開催しました。

午前中には写真撮影があり、女性の方はお化粧しての写真撮影であったため、ファンデーションをつけて眉を整え口紅をひく頃には、「別嬪になったかな？」と少し照れた様子でカメラに笑顔を向けてくださり、お化粧させていただき職員の手にも力が入りました。

介護職員

家高多代

屋食の時間となり、ご家族の方々と祝膳を囲み和やかな会話がそこかしこで聞こえ、温かい気持ちに包まれました。

その後、ちんどん屋さんが太鼓を叩きラッパを吹き鳴らしながら訪問してくれ、渡してくれる地域交流スペースでの催し物のお知らせのチラシを手にして、ピエロに目を丸くしながら1階に向かい、マンドリン演奏に合わせて歌ったり、尺八と琴の演奏に聞き入ったり、盆踊りに手拍子を打ったりと、皆さんの笑顔より多く拝見できた一日となりました。

この一日を終えて『一日我が家』ではなく、『毎日我が家』に近づけるよう、これからも皆さんの笑顔を増やしていけるよう、努力していきたいと感じました。

ご来園いただいたご家族、ボランティアの皆さん、催しを企画いただいた後援会、家族の会の皆さんに心より感謝申し上げます。





ユニット便り 10ユニット

10月からの新任ユニットリーダーを紹介いたします



2ユニット 濱口友喜



7ユニット 行森 崇

介護職員の担当ユニット変更も行いました。入居者、ご家族の皆さんには新たな関係を築くためご負担をお掛けしますが、新しい出会いが始まることにもなります。どうぞご期待ください。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

朝夕はめっきり涼しくなり、澄んだ青空に秋を感じられます。10ユニットでは入居者さんがこうした季節の変化を感じられる様に、廊下や白い大きな壁に四季折々の飾り付けをしています。今月は新しくお月見の飾りを掲げました。それを見て、入居者さんが「お月見か・・・ウサギが可愛いのが」と言う声も聞かれ、飾りつけを見て楽しんで下さっています。

リビングのテーブルやソファの配置にもユニット職員全員で意見を出し合い、家族団欒な雰囲気を感じてもらえる様工夫しています。外出の出来る入居者の方には、誕生日の月にユニットのお連れと一緒に外食をしたり、自分の欲しいものを自分で選んで購入する喜びを感じていただけるように心掛けています。

今後も四季の飾り付けや外出等を行い、メリハリのある生活を送っていただけるように努め、自室で多く過ごされる方々の日々の様子も伺いながら、より良い生活を送っていただけるように職員同士で話し合い、楽しいユニット作りを目指していきます。



ユニットリーダー

行森 崇

リレーエッセイ(16) 「我が家の防災」

とある休日に妻と2ヶ月になる子供と休んでいると夫婦のケータイ電話が大きな音を鳴らし緊急地震速報を伝えました。すぐにテレビをつけ避難準備したのを覚えています。その後誤報であり津波の心配はなかったことを知り安堵しました。

東北の地震が起きて以来、我が家には防災リュックがあります。当時防災に関心を持ち夫婦で準備したもので、中身は水、食料、懐中電灯、ラジオ、救急処置セットなど一通り揃えており、保管する場所を決め最後にお金や通帳を入れ持ち出す予定にしています。

しかしこの防災リュックを持ち上げるとかなり重たく持ち運びには一苦労するほどで、この日も妻と子と避難しようと思うと、移動が大変である事に気が付きました。妻は「子供だけで精一杯」と言っていました。

そこで防災リュックの軽量化をはかる事にしました。改めて中身を確認すると、水や食

料、乾電池などは期限切れのものが多く、ケータイの充電器は今の機種には使えないものでした。必要最小限の物となるとどうすればよいか、妻と考えながらより分け、賛否両論ありましたがリュックの中身は半分ほどにしました。これで助かるという確信はありませんが、少しは逃げやすいだろうと思います。

地震が来ずに津波も来ないのが一番です。しかし、もしもの時に少しでも早く対応できれば助かる命があります。その時に備えてこれからも防災について考えていきたいです。

今回は3ユニット谷口政人さんにバトンタッチします。



10～11月の愛の園

- 13(日) 日曜礼拝
- 15(火) ひまわり会
- 16(水) 手芸サークル
- 17(木) やまびこ会 秋の遠足
- 18(金) 社協ボランティア来園
- 20(日) 日曜礼拝
- 22(火) マリア会
- 23(水) 歯科診療
- 24(木) やまびこ会
- 27(日) 日曜礼拝
- 31(木) やまびこ会

- 3(日) 逝去者記念礼拝
- 7(木) やまびこ会
- 10(日) 日曜礼拝 運動会
- 12(火) マリア会

編集者から

手のひらで相手の背中や手にそっと触れることで患者の痛みや不安を和らげる効果があるタクティールケアは、発祥の地スウェーデンでは認知症患者のケアに導入し、日本でも最近特別養護老人ホームなどで取り入れられつつあるそうです。触れて皮膚が刺激を受けることで安心感をもたらすホルモン分泌を促す効果があり、普及に取り組む「日本スウェーデン福祉研究所」のインストラクターは「まずそっと相手の手を握ってみてほしい。話しかけたとき無表情でも触れることで何らかの反応が返ってくる」と答えています。

触れるという行為は誰にでもできます。これからは声を掛けるだけでなく、心掛けていきたいと思います。(I)